



2022年4月18日

各位

会社名 セレンディップ・ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 竹内 在  
 (コード: 7318 東証グロース)  
 問合せ先 取締役管理部門担当役員 小谷 和央  
 (TEL 052-222-5306)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年6月24日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

連結	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,010	331	249	175	44.78
今回修正予想 (B)	13,806	197	179	199	49.18
増減額 (B - A)	△1,204	△134	△69	24	—
増減率 (%)	△8.0	△40.6	△28.0	13.8	—
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	14,460	327	417	398	127.21

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、2021年6月24日に公表した業績予想ではコロナ禍の影響から回復し、通常の経済活動に復することを前提としておりました。しかしながら、モノづくり事業において、新型コロナウイルス感染症に伴う部品供給不足の影響による自動車メーカーの生産計画の度重なる見直しにより減産となったこと等で、2021年6月24日に公表した業績予想では売上高は、13,885百万円(前期比8.0%増)を見込んでおりましたが、修正予想では売上高は12,996百万円(同1.1%増)となる見込です。また、インベストメント事業においては、新型コロナウイルス変異株の感染拡大によりアドバイザー業務等の面談機会が制限された影響でスケジュール遅延が発生し、案件が翌期以降にずれ込んだことにより、2021年6月24日に公表した業績予想では売上高は、236百万円(前期比73.6%減)を見込んでおりましたが、修正予想では売上高は68百万円(同92.3%減)となる見込です。

利益につきましては、モノづくり事業において、上記の売上高減少に加えて自動車メーカーの計画外の稼働停止による固定費の負担が重く利益が減少したこと、及びプロフェッショナル・ソリューション事業において、製造現場改善コンサルティング・デジタル関連コンサルティング案件の受注が順調に進捗していることを受け、積極的に人材採用を行ったことで人件費が6百万円増加したこと、並びにインベストメント事業において、上記の売上高減少によりセグメント損失となったことにより、営業利益及び経常利益は、公表数値を下回る見込です。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、2022年3月30日にお知らせしたとおり、投資有価証券売却益を計上したため公表数値を上回る見込です。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上